

介護を「個人の課題」から「みんなの話題」へ

OPEN CARE PROJECTとは

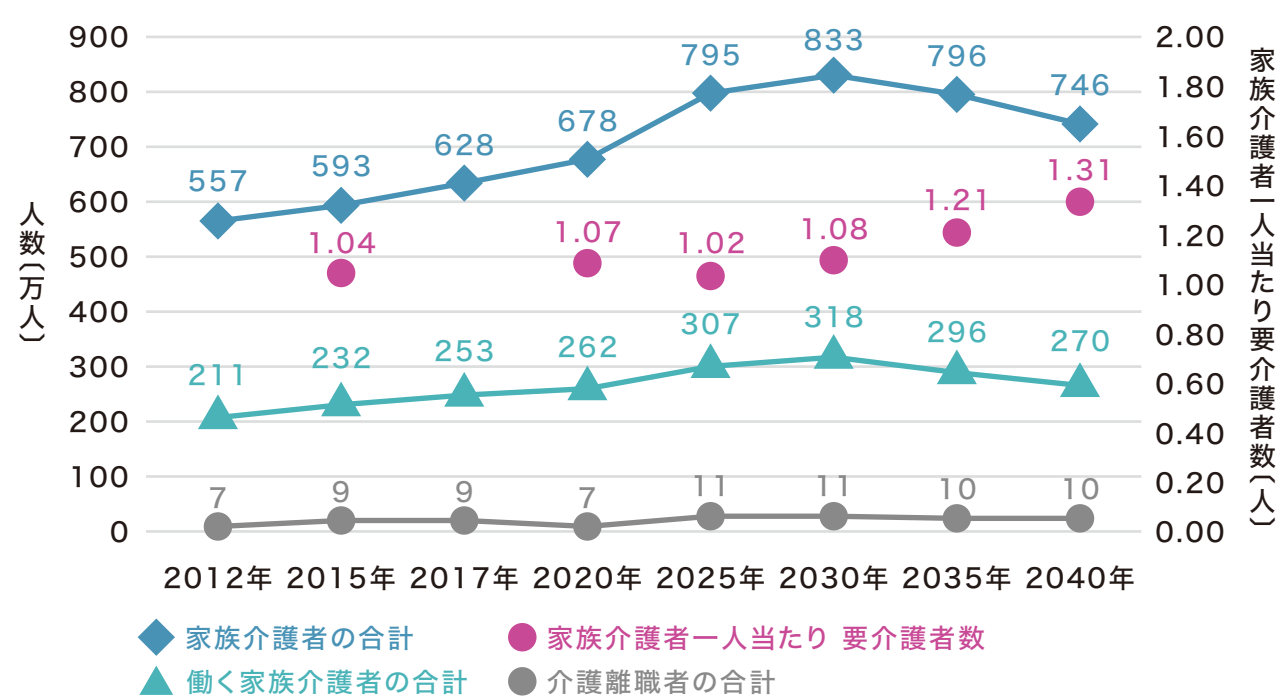


「OPEN CARE PROJECT」は、介護を「個人の課題」から「みんなの話題」へ転換することを目的に、2023年3月に発足。介護当事者や介護業務従事者、メディア、クリエイター、企業等、多様な主体を横断して、介護に関する話題を議論し、課題解決に向けたアクションを推進するプロジェクトです。



ホームページ

仕事と介護の両立に関連する指標の推移



(出所)「仕事と介護の両立支援に関する経営者向けガイドライン」(2024年3月・経済産業省)より抜粋し、作成

立ち上げ背景 ①

高齢化の進行に伴う 家族介護者負担の増大

高齢化の進行に伴い、日本では仕事をしながら家族介護を行う方が増加。「介護離職者」は毎年約10万人にものぼります。

また、仕事と介護の両立困難に起因する労働生産性低下等に伴う経済損失は、2030年には約9.2兆円と試算され、介護両立困難が企業活動に対して与える影響は年々増すと考えられています。

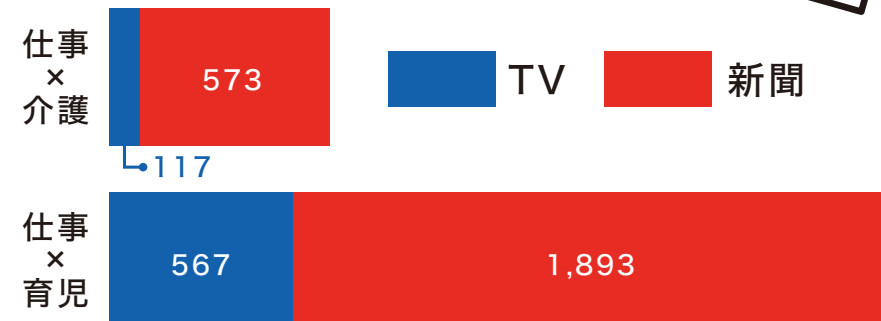
立ち上げ背景 ②

介護リテラシーの低さ

OPEN CARE PROJECTでは、「社会全体として介護に関するリテラシーが低いこと」に着目。

例えば「仕事と介護」に関する報道量は、「仕事と育児」に関する報道量と比べ約3分の1という状況。介護に直面するまで情報に触れる機会が限られ、企業や個人を含め社会全体のリテラシーや当事者意識が醸成されにくい状況があります。

TV・新聞における報道量調査



経済産業省 令和4年度中小企業実態調査事業
(仕事と介護の両立に係る機運醸成に向けた関連調査事業)より

OPEN CARE PROJECTの主な取組

そこで「OPEN CARE PROJECT」では、介護を「個人の課題」から「みんなの話題」にするために、様々なアクションを展開してきました。

OPEN CARE TALKS



これまで介護に関わりのない層(クリエイター、若者、ビジネスマンなど)を対象にしたイベントを実施

OPEN CARE PROJECT AWARD



多様な主体の参画促進の観点から、介護をよりポジティブな切り口で取り上げ、社会に発信していくエピソード、アクション、アイデアを表彰

OPEN CARE BRAND ACTION



OPEN CARE PROJECTのコンセプトを体現する取組を企画。2024年度は、家族介護に着目し、体験型コンテンツを提供